

横須賀市の児童生徒の読書実態調査（報告書）

平成30年(2018年) 3月

横須賀市教育委員会

1. 調査概要

(1) 調査目的

本市における子どもの読書の実態を調査し、第2次横須賀市子ども読書活動推進計画の進捗状況を把握する。

(2) 調査対象

横須賀市立小学校（4～6年生）・中学校（1～3年生）の抽出1クラスの児童生徒に対してアンケートを実施した。

区分	全対象数		抽出数			
	学校数	児童生徒数	学校数	配布数	回答数	回収率
小学校	46校	9,526人	46校	4,040人	3,960人	98.0%
中学校	23校	9,922人	23校	2,309人	2,147人	93.0%
合計		19,448人		6,349人	6,107人	96.2%

※平成25年度までは抽出校調査、平成26年度から全校調査

(3) 実施方法

各学校に調査票を送付して依頼し、各学校単位で実施し、回収した。

(4) 実施期間

平成29年12月1日(金)～22日(金)

(5) 調査基準

平成29年11月の1カ月間

2. 調査結果の概要

【問1】11月の1カ月の間に、本を何冊ぐらい読んだか。

- ・小学校の児童の平均読書冊数は、7.5 (7.5) 冊で、中学校の生徒の冊数は2.8 (3.9) 冊である。読んだ本の冊数は、小学校の児童は前回と同数であり、中学校の生徒の冊数は前回よりも1.1冊減っている。
- ・本を1冊も読まなかった小学校の児童は10.6% (11.1%)、中学校の生徒は42.8% (41.9%) で、小学校の児童は前回よりも0.5%減り、中学校の生徒は前回よりも0.9%増えている。

読書冊数の全国との比較

区 分		今回調査値 (29年度)			前回調査値 (28年度)			基準値 (23年度)		
		本	雑誌	マンガ	本	雑誌	マンガ	本	雑誌	マンガ
小学生	横須賀	7.5冊	1.4冊	6.7冊	7.5冊	1.5冊	8.5冊	4.9冊	1.9冊	7.4冊
	全国	11.1冊	3.7冊		11.4冊	3.7冊		9.9冊	4.9冊	
中学生	横須賀	2.8冊	1.2冊	7.1冊	3.9冊	1.7冊	9.8冊	2.9冊	2.3冊	10.9冊
	全国	4.5冊	1.7冊		4.2冊	1.7冊		3.7冊	3.3冊	

月間読書冊数別の割合

区分	合計	0冊	1~4冊	5冊以上	無回答	平均読書冊数
小学生	100.0%	10.6%	42.1%	47.3%	0.0%	7.5冊
	(100.0%)	(11.1%)	(44.2%)	(44.7%)	(0.0%)	(7.5冊)
中学生	100.0%	42.8%	43.3%	13.9%	0.0%	2.8冊
	(100.0%)	(41.9%)	(41.7%)	(16.4%)	(0.0%)	(3.9冊)

※ () 内数字は、前回の調査の数値

1カ月の間に読んだ本の冊数が0冊だった児童生徒の割合

区 分		今回調査値 (29年度)	前回調査値 (28年度)	基準値 (23年度)
小学生	横須賀	10.6%	11.1%	17.1%
	全国	5.6%	4.0%	6.2%
中学生	横須賀	42.8%	41.9%	35.9%
	全国	15.0%	15.4%	16.2%

※全国数値は、全国学校図書館協議会と毎日新聞社が合同で行っている平成29年6月調査の数値。本市の調査時期と異なるが、参考として全国数値としている。

【問2】【問1】で本を1冊も読まなかった理由(複数回答可)

- ・小学生、中学生ともに「本を読む時間がない」を一番に挙げている。

	どんな本を読んで いいかわからない	本は面白く ない	本を読む 時間がない	字が難しい	その他	無回答
小学生	14.0%	24.2%	28.5%	8.3%	21.6%	11.9%
中学生	14.1%	21.7%	38.9%	6.4%	23.7%	17.2%

※複数回答のため、割合の合計は100%にならない

【問3】本を読むのが好きか。

- ・「好き」「どちらかといえば好き」の割合は、小学校の児童79.4% (80.3%)、中学校の生徒69.5% (68.8%) である。

区分	好き	どちらかといえ ば好き	どちらかといえ ばきらい	きらい	無回答
小学生	42.1%	37.3%	14.7%	5.6%	0.3%
	(43.1%)	(37.2%)	(14.2%)	(5.4%)	(0.1%)
中学生	32.7%	36.8%	20.8%	9.3%	0.4%
	(35.3%)	(33.5%)	(18.1%)	(12.8%)	(0.3%)

※ () 内数字は、前回の調査の割合

【問1】と【問3】に対するクロス集計

- ・小学生については、本を読むのが「好き」な児童の平均読書冊数以外は増加している。
- ・中学生については、本を読むことが「好き」「きれい」に関係なく平均読書冊数が減少している。

小学生

本を読むのが好きですか	合計	0 冊	1~4 冊	5 冊以上	無回答	平均読書冊数
好き	100.0% (100.0%)	3.0% (2.9%)	28.6% (29.8%)	68.4% (67.3%)	0.0% (0.0%)	11.7 冊 (12.1 冊)
どちらかといえば好き	100.0% (100.0%)	7.9% (9.7%)	52.7% (55.7%)	39.4% (34.6%)	0.0% (0.0%)	5.5 冊 (5.0 冊)
どちらかといえばきれい	100.0% (100.0%)	22.5% (24.5%)	56.6% (59.3%)	20.7% (16.2%)	0.2% (0.0%)	2.8 冊 (2.7 冊)
きれい	100.0% (100.0%)	53.4% (52.1%)	33.6% (39.5%)	13.0% (8.4%)	0.0% (0.0%)	1.7 冊 (1.4 冊)

※（ ）内数字は、前回の調査の割合

中学生

本を読むのが好きですか	合計	0 冊	1~4 冊	5 冊以上	無回答	平均読書冊数
好き	100.0% (100.0%)	17.5% (16.3%)	47.7% (49.2%)	34.8% (34.5%)	0.0% (0.0%)	6.5 冊 (7.9 冊)
どちらかといえば好き	100.0% (100.0%)	39.1% (39.8%)	54.7% (49.6%)	6.1% (10.6%)	0.1% (0.0%)	1.5 冊 (2.4 冊)
どちらかといえばきれい	100.0% (100.0%)	69.7% (63.7%)	29.2% (33.5%)	0.9% (2.8%)	0.2% (0.0%)	0.4 冊 (0.8 冊)
きれい	100.0% (100.0%)	84.5% (87.2%)	14.0% (11.7%)	1.5% (1.1%)	0.0% (0.0%)	0.6 冊 (1.5 冊)

※（ ）内数字は、前回の調査の割合

【問4】授業以外で学校図書館を利用したことがあるか。

- ・「よく利用する」、「ときどき利用する」の割合は、小学校の児童56.4% (51.9%)、中学校の生徒22.7% (20.6%) である。小学生は「よく利用する」割合が前回調査より大幅に増加している。

区分	よく利用する	ときどき利用する	あまり利用しない	利用したことがない	無回答
小学生	18.4%	38.0%	36.6%	6.2%	0.8%
	(3.5%)	(48.4%)	(41.1%)	(6.4%)	(0.6%)
中学生	4.6%	18.1%	40.1%	35.8%	1.4%
	(1.8%)	(18.8%)	(42.0%)	(37.3%)	(0.1%)

※（ ）内数字は、前回の調査の割合

【問5】【問4】であまり利用しない、利用したことがないと回答した児童生徒に対して質問している。
学校図書館を利用しないのはなぜか。(複数回答可)

- ・小学生、中学生とも利用しない一番の理由として「行く時間がないから」を挙げており、続いて「本は買う事が多いから」と「本に興味がないから」が続いている。

学校	行く時間がないから	本に興味がないから	使いたいときに図書館がしまっているから	本は買う事が多いから	その他	無回答
小学生	35.2%	27.0%	2.1%	33.0%	26.3%	4.7%
中学生	41.1%	30.1%	2.6%	36.4%	23.8%	3.0%

※複数回答のため、割合の合計は100%にならない

4. 第2次横須賀市子ども読書活動推進計画の目標値との比較

指 標		基準値 (23年度)	前回値 (28年度)	今回調査値 (29年度)	目標 (29年度)	
1	1カ月間の 平均読書冊数	小学生	4.9冊	7.5冊	7.5冊	6.4冊
		中学生	2.9冊	3.9冊	2.8冊	3.8冊
2	1カ月間に本を 1冊も読まない 児童生徒の割合	小学生	17.1%	11.1%	10.6%	12.4%
		中学生	35.9%	41.8%	42.8%	28.8%

5. 調査結果の分析

- (1) 市立小中学校全 69 校を調査した。前年度比較においては大きな改善が見られないが、小学生は第2次子ども読書推進計画の目標値を達成した。
中学生については目標値には届かず、「1カ月間に本を1冊も読まない生徒の割合」では基準値よりもさらに悪化している。
- (2) 小学生、中学生とも「本を1冊も読まなかった理由」では「本を読む時間がない」が一番多い。「授業以外で学校図書館を利用しない理由」では「行く時間がないから」が一番多く、小中学生の忙しさがうかがえる。
- (3) 小学生については平均読書冊数が増加し、「1カ月間に本を1冊も読まない児童の割合」の改善が見られる。中学生については基準年度よりもさらに状況が悪化しており、学校・生徒の現状を踏まえた取り組みを検討する必要がある。

小学生の読書についての調査^{ちようさ}

これから答えていただくのは、テストではありません。ですから、名前を書く必要はありません。学級や学校名を公表することはありません。

まず、あなたの学年を○でかこんでください。

学 年	4年生	5年生	6年生
-----	-----	-----	-----

【問1】あなたは11月の1カ月の間に、本を何冊ぐらい読みましたか。教科書・学習参考書(ドリル・問題集)の数は入れないでください。1冊も読まなかった人は0と書いてください。

答

本	冊
雑誌	冊
マンガ	冊

【問2】【問1】で本を1冊も読まなかった人におたずねします。

本を1冊も読まなかった理由を教えてください。(複数回答可)

- ① どんな本を読んで良いかわからない
- ② 本はおもしろくない(おもしろかったことがない)
- ③ 本を読む時間がない
- ④ 字が難しい
- ⑤ その他 ()

【問3】あなたは、本を読むのが好きですか。番号を1つだけ○でかこんでください。

答

1.	好き
2.	どちらかといえば好き
3.	どちらかといえばきらい
4.	きらい

☆うらにも質問があります

【問4】あなたは、授業以外で学校図書館を利用したことがありますか。

答	1. よく利用する
	2. ときどき利用する
	3. あまり利用しない
	4. 利用したことがない

【問5】【問4】であまり利用しない、利用したことがないと答えた人におたずねします。
学校図書館を利用しないのはなぜですか。(複数回答可)

- ① 行く時間がないから
- ② 本に興味がないから
- ③ 使いたいときに図書館がしまっているから
- ④ 本は買う事が多いから
- ⑤ その他 ()

質問はこれで終わりです。

ご協力ありがとうございました。

中学生の読書についての調査

これから答えていただくのは、テストではありません。ですから、名前を書く必要はありません。学級や学校名を発表することはありません。

まず、あなたの学年を○でかこんでください。

学 年	1 年 生	2 年 生	3 年 生
-----	-------	-------	-------

【問1】あなたは11月の1カ月の間に、本を何冊ぐらい読みましたか。教科書・学習参考書(ドリル・問題集)の数は入れないでください。1冊も読まなかった人は0と書いてください。

答	本	冊
	雑誌	冊
	マンガ	冊

【問2】【問1】で本を1冊も読まなかった人におたずねします。

本を1冊も読まなかった理由を教えてください。(複数回答可)

- ① どんな本を読んで良いかわからない
- ② 本はおもしろくない(おもしろかったことがない)
- ③ 本を読む時間がない
- ④ 字が難しい
- ⑤ その他 ()

【問3】あなたは、本を読むのが好きですか。番号を1つだけ○でかこんでください。

答	1. 好き
	2. どちらかといえば好き
	3. どちらかといえばきらい
	4. きらい

☆うらにも質問があります

【問4】あなたは、授業以外で学校図書館を利用したことがありますか。

答

1. よく利用する
2. ときどき利用する
3. あまり利用しない
4. 利用したことがない

【問5】【問4】であまり利用しない、利用したことがないと答えた人におたずねします。
学校図書館を利用しないのはなぜですか。(複数回答可)

- ① 行く時間がないから
- ② 本に興味がないから
- ③ 使いたいときに図書館がしまっているから
- ④ 本は買う事が多いから
- ⑤ その他 ()

質問はこれで終わりです。
ご協力ありがとうございました。

「読書についての調査」実施の手引き

調査に当たって、児童・生徒に対して、回答を暗示しないよう説明をお願いいたします。

(調査のすすめかた)

1. まず目的を説明してください。
「横須賀市の子どもが、読書をしているのか、調べるための調査です。調査の結果は、「第2次横須賀市子ども読書活動推進計画」の進捗状況を確認するために使用します。
2. 続けて次のことをお伝えください。
「これから答えていただくのは、テストではありません。ですから、名前を書く必要はありません。学級や学校名を発表することはありません。」
3. 次に学年を○で囲むよう説明してください。
4. 終了を確認してから、【問1】を説明し、記入を確認してから【問2】に進んでください。以下同様に【問5】までお願いします。

(調査の実施にあたっての注意点等)

1. 【問1】で調査するのは、11月の1カ月の間に読んだ本・マンガ・雑誌の数です。紙の本だけでなく、パソコンやスマートフォンなどで読んだものも含め、種別ごと設けた3つの欄に、それぞれの数を記入してください。
 - ①本の欄に記入するのは、一般の単行本（児童書・小説・ノンフィクション・実用書等）・文庫本・絵本・ムック等であることを説明してください。
学習マンガ（「マンガ××の歴史」「マンガ〇〇のひみつシリーズ」等）や図鑑についての判断を求められた場合は、「本」として含めてください。
電子書籍の本についても、マンガ・雑誌は含めないことを説明してください。「ケータイ小説」「Web小説」のような場合は、一つの物語が完結している分を1冊とみなして数えてください。
 - ②雑誌の欄に記入するのは、週刊誌・月刊誌等を読んだ数です。マンガの週刊誌・月

刊誌等の数はこちらに入れてください。電子書籍の本についても、マンガの週刊誌・月刊誌等の数はこちらに入れてください。

- ③ マンガの欄に記入するのは、マンガの単行本（コミック）・マンガの文庫本等を読んだ数です。マンガの週刊誌・月刊誌の数は、ここに入れないでください。電子書籍の本についても、マンガの週刊誌・月刊誌の数は、ここに入れないでください。
- ⑤ 回答欄毎の分類で1冊も読まなかった場合は、当てはまる欄に0と記入してください。
- ⑥ 通読はしないが読んだ本・雑誌・マンガがある場合、それを1冊に数えるかどうかは、本人の感覚にまかせてください。数量的な基準を問われた場合は、概ね3分の2以上としてください。電子書籍の本についても同様です。
2. 【問2】で調査するのは、【問1】で本を1冊も読まなかったと答えた（本の欄に0と記入した）場合の、読まなかった理由です。
- ① 【問3】で本の欄に0と記入してある人だけ回答してください。
- ② 【問3】で本の欄に読んだ数（0以外の数）が記入してある場合は、回答する必要はありません。
- ③ 5つ選択肢がありますが、あてはまる番号をすべて0で囲んでください。
- ④ 5を0で囲んだ場合は、（ ）の中に、理由を記入してください。
3. 【問3】で調査するのは、本を読むことが好きか、きれいかです。
- ① この設問で、調査の対象としている「本」とは、【問1】の「本の欄」で定義した「本」です。雑誌・マンガではありません。
- ② 4つ選択肢がありますが、あてはまる番号を1つだけ0で囲んでください。
4. 【問4】で調査するのは、学校図書室を利用する頻度についてです。4つ選択肢がありますが、あてはまる番号を1つだけ0で囲んでください。
5. 【問5】で調査するのは、【問4】で「3. あまり利用しない」「4. 利用したことがない」と答えた場合の理由です。
- 5つ選択肢がありますが、あてはまる番号をすべて0で囲んでください。5を0で囲んだ場合は、（ ）の中に、理由を記入してください。



横須賀市の児童生徒の読書実態調査(報告書)

平成 30 年(2018 年)3月発行

横須賀市立中央図書館
〒238-0017 横須賀市上町1-61
電話 046-822-2202